

1. 学校教育目標

浦安市学校教育推進計画の**基本目標**である「**自ら学び 自他を尊重する心と 時代を切り拓き しなやかに生きる力の育成**」をめざし、学校教育目標を次のように定める。

「志を高く掲げて、自分色に光り輝く生徒の育成」

スローガン ～TAKASU 最幸～

2. めざす生徒像：**自主的から自発的に→手応えを実感**

- (1) 自ら学び、身に付けた知識や技能を活用する生徒（主体的学び）
- (2) 自分や他人のよさを認め、互いに尊重し合う生徒（自他を尊重する心）
- (3) いのちを大切にし、健康でたくましい生徒（健やかな体）
- (4) 適切に表現する力を身に付け、人や社会に積極的にのかかわる生徒
(豊かなかかわり参画・交流)
- (5) 我が国やふるさと浦安に誇りを持ち、多様な文化を大切にする生徒
(豊かなかかわり郷土愛)

3. めざす学校像：**高洲地区をふるさとに→高洲中学校が最幸**

- (1) 一人一人を大切にし、生徒が夢や希望を抱き、安心して学習、生活する学校
- (2) あいさつ、対話、歌声が響き合い、誰もが挑戦できる学校
- (3) 9年間の学びの連続性を意識し、小中学校の連携を強め、地域に根差し、家庭や地域と積極的に連携する学校（CS：学校地域連携運営協議会とともに）
- (4) 教職員が**チーム**として支え合い、相手を尊重し同じ思いを持って共に学び合い、力量を高める学校

4. めざす教師像：**信頼される教師**

- (1) 生徒の幸せを願い、使命感あふれる教師
- (2) 心身ともに健康で、日々の教育実践に最善を尽くす教師
- (3) 生徒一人一人の学びを保証する授業づくりに努め、手応えを実感できる教師
- (4) 生徒の声に耳を傾け、安心・安全に生活することを最優先に考える教師
- (5) 温かい人間関係を築き、互いを認め合い、励まし合い、高め合う教師
- (6) 学び続ける姿勢を持ち、研修に積極的に参加する教師

5. 学校生活の基本姿勢

「凡事徹底」：「時を守り、場を清め、礼を正す」《率先垂範の徹底》

(1) 「時を守る」について **予鈴を意識した行動**

授業開始や着席の時間、宿題・提出物の期限を守り、物事に取り組む「構え」をつくらせることを大切にする。教職員自身も実践し、日々の教育活動に説得力のある姿勢であたる。

(2) 「場を清める」について **きれいな学校**

清掃に真剣に取り組む、ゴミが落ちていたら拾う、下駄箱の靴を揃える、机やロッカーなど身の回りを整頓する等、生活環境を整えることができる生徒の育成を行います。教職員自身も職場環境の整美、整理整頓に努める。

(3) 「礼を正す」について

相手を認め、互いに分かり合える土壌をつくるとともに、挨拶や返事の意味を理解させ、気持ちの良い挨拶ができる学校を目指す。教職員自身も挨拶の励行に努め、場に応じた正しい言葉遣いを意識する。

6. 今年度の重点目標（1、2、5、8）と方策

(1) 「進んで学ぶ（自学）」「楽しく学ぶ（意欲）」「学び合い（共学）」を意識し、**学習意欲の向上と学力の定着**を図る。

- ①指導法の工夫・改善で授業の質向上（「主体的・対話的で深い学び」の実現へ）
- ②教科部会の充実（評価の材料の明確化、評価計画、単元テスト等の共通理解）
- ③定期テスト前の学習会、期間を設けて補習を実施する。家庭学習について具体的な支援の実施
- ④読書活動の推進・・・朝読書の継続。生徒の豊かな知性や感性の育成と「読解力」の育成

(2) 生徒理解を要とした積極的な生徒指導の推進（未然防止）

- ①受容的・共感的な生徒指導の推進・・・信じる、認める、任せる
※個別に支援が必要な生徒への支援はもちろん、努力が表出しづらい生徒やコミュニケーションが取りづらい生徒等に焦点をあて、**誰一人取り残さない**。
- ②生徒が安心して力を発揮できる、あたたかな学級づくり
 - ・他者と積極的に関わり、生徒一人一人が安心して意見を言い合える、失敗を恐れず挑戦できる学級・学年をつくる。仲間と共に目標を達成する心地良さを体験させる。
 - ・話し手だけでなく**聞き手も育て、話し合い活動の質を高める**。
- ③自他共に命を大切にする意識の高揚
 - ・いじめに係る正しい理解の推進（教職員・生徒・保護者、地域）
 - ・いじめの未然防止並びに認知時の適切かつ**組織的対応の徹底**
 - ・自殺予防教育的視点をもった指導

(3) 道徳教育の充実

- ①担任が行う道徳、パッケージ方式で行う学年道徳を意図的、計画的に実施し、指導方法や評価の在り方について研修しながら、**高洲中スタンダードを確立**する。

(4) キャリア教育の充実

- ①職場体験や外部人材を活用し、多様な価値観に触れ、生徒に「夢」や「憧れ」を持たせられるようにする。
- ②小学校・中学校・高校と**学びの連続性を意識し、系統性を持って**取り組んでいく。

(5) ICT教育の充実

- ①タブレットをわかる授業・探求のためのツール、自分の考えを表現するためのツールとして積極的に活用する。
- ②各教科・領域で**タブレットを活用する場面を明確**にし、その効果を積み重ねる。

(6) 特別支援教育の充実

- ①一人一人の**ニーズに応じた教育的支援**の充実・・・個別の教育支援計画・指導計画を有効に活用し、計画的・継続的な見直しを行う。
- ②特別支援学級（8組）と通常の学級との交流及び共同学習の積極的な推進
- ③関係諸機関との連携・協力の強化 ※ケース会議の開催

(7) 不登校傾向の生徒への対応

【目的】居場所づくりと自己理解、社会へ出る土台作り（生きる力を育てる）

- ①早期発見、早期対応を心がけ、SLC・SCも含め、**組織で対応**する。
- ②いちょう学級等、関係諸機関との連携を密にし、**一人一人に応じた対応**を行う。

(8) 高洲中学校区小中連携・一貫教育の推進

- ①学区重点目標（グランドデザイン）の具現化に向けた教職員の連携
- ②**相互乗り入れ授業の段階的導入**
- ③児童・生徒の交流活動の充実

(9) 教職員のモチベーション向上と働き方改革の推進

- ①学年や教科部会を基本とした「助け合い」「励まし合い」**「気軽な相談」**の推進
- ②風通しのよい職場、**ボトムアップによるモラールアップの推進**
- ③業務を精選し、役割分担、協力体制を明確にし、**効率的な働き方**を追求